

施設名称	くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
------	-------------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	高齢者部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、在宅介護支援センター(2)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕 障害者部門〔知的障害者更生施設(2)、知的障害者授産施設(4)、身体障害者授産施設(3)、地域活動支援センター(1)、福祉センター(1)〕、その他部門〔措置施設(3)〕
②類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 4,342,529,007 円、歳出 4,373,629,579 円、収支差額▲31,100,572 円 [公営事業特別会計]歳入 20,769,635 円、歳出 19,811,860 円、収支差額 957,775 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区蔵前 2-11-7
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
④開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分
⑤規模	延べ床面積 3,937㎡のうち574㎡ SRC造地上7階地下2階のうち6階の一部
⑥人員体制	15名(内訳)施設長(1)、事務員(2)、生活相談員(1)、看護師(常勤1、非常勤1)、介護職員(常勤5、非常勤4)

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	①通所介護サービス(送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等)、②介護予防通所介護サービス(送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等)(定員30名)
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

20年度延べ利用人数

単位時間(一般)	通所介護 6~8	通所介護 4~6	通所介護 3~4	通所介護 2~3	介護予防通 所介護	計	利用率(%)
前期	3,589	0	0	0	488	4,077	86.6%
後期	3,259	0	0	0	593	3,852	83.9%
計	6,848	0	0	0	1,081	7,929	85.3%

5. 予算決算の推移

(単位:円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	委託料	31,690,800	31,560,000	17,955,000	12,728,000	10,000,000
	料金収入等	59,183,200	70,709,000	78,175,000	78,105,000	76,864,000
	管理経費	90,874,000	102,269,000	96,130,000	90,833,000	86,864,000
決 算	委託料	23,940,373	23,212,410	17,955,000	12,728,000	
	料金収入等	71,351,880	90,071,213	106,347,255	121,332,667	
	管理経費	86,944,663	85,732,194	81,953,033	133,820,667	
	収 支	8,347,590	27,551,429	42,349,222	240,000	

6. 指標

指標名称	単位	目標値(22年度)	19年度	20年度	21年度
利用率(一般デイ)	%	90.0	82.4	85.3	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 —：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [—] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費削減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	利用者本位の適切なサービスが提供されている。
②施設の維持管理	A	館内は清潔に保たれており、利用者の視点に立った施設の維持管理に努めている。
③利用者の満足度	A	利用率は高水準で推移しており、満足度調査でも、大半の利用者が満足していると回答している。
④歳入歳出	A	利用率の向上により、介護報酬は増収となった。今後も継続して収支計画の改善を図り、利用料金収入の確保に努める必要がある。
⑤総合評価	A	全体的に良好な事業運営がなされている。
9. 課題への対応等		
<p>利用者のニーズを把握し、全般的に良好な事業運営を実施している。利用率も高い水準を維持していることもあり、今後のさらなるサービス向上が期待できる。</p> <p>経営努力により利用率が向上し、介護報酬は増収となっている。引き続き自主運営に向けた、収支計画の改善に取り組む必要がある。</p>		